

校長の自慢 『360分の1の才能②』

生徒にはそれぞれ、隠れた才能があります。朝早く起きることができる才能。何かを続けてやり通すことができる才能。人を楽しませることができる才能。一緒に居るだけで心なごませてくれる才能。黒板をきれいに消すことができる才能。みんな、すばらしい才能をもっています。

先生たちは時に、個々の生徒の隠された才能を知り、驚くことがあります。今回はたくさんある生徒の才能の中から、いくつかを紹介したいと思います。

前回は切り絵の名手をご紹介しました。今回は「10秒台の男」2年4組伊藤 照さんです。



中学校から陸上を始めました。中学時代から注目されていました。中学校2年生の時、ジュニアオリンピックに出場し、男子100メートル決勝に進出。6位入賞しました。その彼が、今年7月の地区大会で100メートル10秒99の記録を出しました。同日、別のレースでは追い風2.7メートルであくまでも参考記録ですが、10秒90の記録も出しています。

上の写真の左が彼です。写真右は本校数学科の大寺先生です。ちなみに、大寺先生は高校時代に短距離でインターハイに出場した経験をもち、今年から陸上部の指導をしてくれています。

大寺先生によると伊藤さんは来年のインターハイ出場をめざして黙々と練習に励むと同時に、最近の後輩の面倒をよく見るようになってきたとのこと。また、担任をしている前田先生によると、陸上での頑張りが学習にも好影響を与え、成績も伸びてきているとのこと。スポーツが彼を人間的にも成長させているようです。